

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C301	商品プランニングⅡ	3年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		演習		
講義目的				
<p>二次に身につけた分析力、企画力を応用し、実際の就職先に向けたデザインを発案。 卒業作品発表会へ出品するデザインを、様々なリサーチを通して立案する。</p>				
授業内容				
<p>企業分析を行い、ブランドのテイストを理解しトレンドを加え、新しいシーズンのデザインを企画する。 卒業作品発表会のショーに出す作品をグループで制作。チームワークを学ぶ。 社会情勢や市場、トレンドをリサーチし、今求められる新しさのあるデザインを発想、表現する。</p>				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	就職先企業研究（2社）及び企画提案	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望先の企業分析</li> <li>・選択した企業の各ブランド分析</li> <li>・ショップリサーチ</li> <li>・商品分析</li> <li>・トレンドリサーチ</li> <li>・シーズンコンセプト決定</li> <li>・シーズンコンセプトからデザイン展開</li> <li>・パソコンを使用し各MAPの作成</li> </ul>	
2	卒業制作	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランドの方向性決定</li> <li>・ターゲット分析</li> <li>・ブランドコンセプト設定</li> <li>・社会情勢、トレンドリサーチ</li> <li>・競合ブランドの研究</li> <li>・シーズンコンセプト決定</li> <li>・シーズンコンセプトからデザイン展開</li> <li>・8スタイリングの完成</li> <li>・素材の確定</li> <li>・各項目MAP作成</li> </ul>	
留意事項（履修条件他）				
欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
各就職先に向けた企画の提案力を身につける。 卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したデザインの立案。	就職先に向けたデザイン、ポートフォリオ作り。 トレンドや社会情勢など各項目をマップにまとめデザインを発想する。	A～E 評価 ※Eは不認定となる 作品提出で総合評価 出席重視		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C301	商品プランニングⅡ	3年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		演習		
講義目的				
卒業作品展に向け、トレンドや社会情勢を分析し、デザインを発想し作成する。 コーディネート力や見せ方、演出の仕方を考え表現力を身につける。				
授業内容				
今求められる新しさのあるデザインを発想、表現。チームワークを学ぶ。 デジタルツールを使用し、HPやブランドブックを作成することにより視覚的演出力を習得させる。 コーディネートや見せ方、演出などの表現力を身につける。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
3	卒業制作	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニック確認</li> <li>・トワルチェック</li> <li>・デザイン修正</li> <li>・ブランドブックラフ画作成</li> <li>・撮影打ち合わせ</li> <li>・ブランドブック作成</li> <li>・ポスター作成</li> <li>・アクセサリー、小物確認</li> <li>・コーディネートチェック</li> <li>・演出決定</li> </ul>	
留意事項（履修条件他）				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したデザインの作成、DTP を使いホームページなど視覚的演出力を身につける。		デザイン発想したものをトータルコーディネートで表現。 またポスターやホームページを作成しヴィジュアル化させる。	A～E 評価 ※E は不認定となる 作品提出で総合評価 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C302	パターンプロダクトⅢ	3年/前期	4	必修
担当教員		科目区分		
山本 香理		演習		
講義目的				
専門職として仕事内容の理解を深め、特殊素材の専門知識や特殊パターンの手法を学び、素材特性を考えたパターン技術を身につけ応用へと繋げる。				
授業内容				
皮革素材やカットソーなどの特殊素材のパターン実習、就職対策として製図実技などを実践する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	就職対策実技	2	ブラウスを実物からの読み取り、製図とトワール組み立て	
2	就職対策実技	4	ワンピースを実物からの読み取り、製図とトワール組み立て	
3	皮革素材	1	素材知識講義	
	皮革ジャケット	11	パターン実習 トワール組み立て	
	皮革ジャケット	8	工業用パターン 指図書 作成	
4	パターンメイキング技術検定対策講座	4	過去問題より解説	
5	カットソー	2	素材知識講義・カットソーパターン作成法	
	企業コラボ企画	10	コラボ商品パターン作成	
6	コルセット	2	コルセット製図法	
7	キモノスリーブ	4	キモノスリーブ製図法（5種）	
8	プリーツスカート	1	プリーツスカートの理論と計算方法	
9	卒業作品グループブランドコレクション	4	ディテール研究	
	卒業作品グループブランドコレクション	7	シルエットパターン研究	
留意事項（履修条件他）				
教材				
最終到達目標		学習法		評価方法
様々な素材の特性を考えた製図理論の習得、及び素材別の始末方法などの的確な縫製指図書が作成できる。		講義 実習		提出課題を総合的に評価する

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C302	パターンプロダクトⅢ	3年/後期	6	必修
担当教員		科目区分		
山本 香理		演習		
講義目的				
専門職として仕事内容の理解を深め、特殊素材の専門知識や特殊パターンの手法を学び、素材特性を考えたパターン技術を身につけ応用へと繋げる。				
授業内容				
3年間で学んだ知識を最大限に活かした卒業作品グループブランドの制作。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	卒業作品グループブランドコレクション	12	シルエット及びデザインパターン作成	
		10	モデルトワールチェック	
		46	デザインパターンへの展開	
		10	モデルトワールチェック	
		12	工業用パターン作成	
留意事項（履修条件他）				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
3年間で習得した様々な製図法を応用に繋げ、デザインと素材、パターンのマッチングやデザインバランス・シルエットバランスを見る力を養う。	講義 実習	提出課題を総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C303	サンプルメイキングⅢ	3年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
下岸 貴美子		演習		
講義目的				
特殊素材の取り扱いから縫製技術を習得				
授業内容				
加工生地への扱い方 本革を使用したライダース制作				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	皮革ベスト	2	皮革の扱い方 裁断方法 針や糸について	
2	皮革ベスト	2	切り替えオープンファスナー	
3	皮革ベスト	2	身頃組み立て ステッチ	
4	皮革ベスト	2	表地、裏地縫い合わせ	
5	皮革ベスト	2	どんでん始末	
6	皮革部分縫い	2	袖口ファスナー明き	
7	ライダースジャケット	2	裁断	
8	ライダースジャケット	2	ファスナー付け	
9	ライダースジャケット	2	表地組み立て	
10	ライダースジャケット	2	裏地組み立て	
11	ライダースジャケット	2	衿付け	
12	ライダースジャケット	2	ステッチ 中とじ	
13	ライダースジャケット	2	袖作り	
14	ライダースジャケット	2	袖付け	
15	ライダースジャケット	2	どんでん始末 付属付け	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標		学習法	評価方法	
様々な素材、形に対応できる縫製技術の習得		講義 課題作成	部分縫い/完成作品によって総合評価とする 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C303	サンプルメイキングⅢ	3年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
下岸 貴美子		演習		
講義目的				
<p>グループブランドコレクションの発表に向けて、各コースの特徴を活かしブランドを意識した素材のテクニックやシルエットの研究を行い各自が学んできた専門コースの技術を発揮しながら作品制作を行いブランドコレクションの発表を行う。</p>				
授業内容				
<p>各ブランドの使用素材からのディテール研究を行い、パターンに落とし込む。 グループ内でのデザインの方向性を話し合いシルエットの作り込みから工業用パターン作成及び作品制作を行う。</p>				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	卒業作品制作	2	テクニック研究①	
2	卒業作品制作	2	テクニック研究②	
3	卒業作品制作	2	トワール縫製	
4	卒業作品制作	2	トワール縫製	
5	卒業作品制作	2	デザイン、素材に合わせた始末方法の研究①	
6	卒業作品制作	2	デザイン、素材に合わせた始末方法の研究②	
7	卒業作品制作	2	スタイリング1、2	
8	卒業作品制作	2	スタイリング1、2	
9	卒業作品制作	2	スタイリング3、4	
10	卒業作品制作	2	スタイリング3、4	
11	卒業作品制作	2	スタイリング5、6	
12	卒業作品制作	2	スタイリング5、6	
13	卒業作品制作	2	スタイリング7、8	
14	卒業作品制作	2	スタイリング7、8	
15	卒業作品制作	2	スタイリング7、8	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標		学習法	評価方法	
それぞれのコースで習得した技術・知識を発揮すること		講義 課題作成	作品提出をもって総合的に評価する 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C304	立体的裁断Ⅲ	3年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
濱田 恵子		演習		
講義目的				
立体の構成を理解、ダーツと地の目の重要性を学ぶ 服のバランス感覚を養う				
授業内容				
1. ボディにトワールを使い、立体構造を確認しながら課題アイテムの制作 2. 平面パターンに落とし込み、製図からの形状と比較、確認 3. 自由課題ではイメージ・バランスを考え、表現力を養う				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	ステンカラーブラウス①	身頃ドレーピング		
2	ステンカラーブラウス②	袖山、袖幅の割り出し		
3	ステンカラーブラウス③	袖ドレーピング		
4	ステンカラーブラウス④	衿ドレーピング		
5	台衿シャツカラー①	後ヨーク、後身頃ドレーピング		
6	台衿シャツカラー②	前身頃ドレーピング		
7	台衿シャツカラー③	袖山、袖幅の割り出し		
8	台衿シャツカラー④	袖ドレーピング		
9	台衿シャツカラー⑤	台衿、上衿の関連性を考えてドレーピング		
10	台衿シャツカラー⑥	トレースパターン作成		
11	ラグランスリーブ①	身頃ラグラン線の設定		
12	ラグランスリーブ②	ラグラン袖ドレーピング		
13	未完成課題の対応①	未完成課題の補習		
14	未完成課題の対応②	トレースパターンのポイントを再確認		
15	ドレープ① (自由デザイン)	デザインをピックアップ、デザイン画に落とし込み		
16	ドレープ②	シルエットから地の目を考える		
17	ドレープ③	ドレープ位置、量を考えてドレーピング		
18	ドレープ④	ドレーピング続き		
19	ドレープ⑤	全体のバランスをチェック		
20	ドレープ⑥	トレースパターン作成		
21	三面体ジャケット①	肩パットの取り付け方、身頃切替線の設定		
22	三面体ジャケット②	前身頃ドレーピング		
23	三面体ジャケット③	後身頃、脇身頃ドレーピング		
24	三面体ジャケット④	身頃トレース、形状の確認、修正		
25	三面体ジャケット⑤	1枚袖ドレーピング		
26	三面体ジャケット⑥	1枚袖からダーツで2枚袖にする		
27	三面体ジャケット⑦	テーラー衿ドレーピング		
28	三面体ジャケット⑧	仕上げ：全体のバランスをチェック トレースパターン作成		
29	未完成課題の対応	未完成課題の補習		
30	総まとめ	疑問点、重要ポイントの再確認		
留意事項（履修条件他）				

教材		
文化服装学院編「文化ファッション大系 アパレル生産講座 3 立体裁断 基礎編」(文化出版局)		
最終到達目標	学習法	評価方法
デザイン画のイメージ通りに立体的に表現できる。平面パターンに落とし込みができる。立体構造の意味を学び、ドレーピング技術を習得。	立体構造に対する講義と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技(正確、美しさ、スピード)</li> <li>・提出物(トレースパターン)</li> <li>・テスト</li> </ul> これらにおいて総合的に評価 出席重視



講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C305	ファッションプランニング	3年/前期	1	必修
担当教員		科目区分		
杉山 晶		演習		
講義目的				
就職活動対策 就職の為の書類選考課題、実技試験、面接時のプレゼンテーション対策。				
授業内容				
就職対策としてのリサーチ方法と企業提案の手法を学び、マップなどのヴィジュアル表現をして短時間で企画提案ができる能力を身につける。制作したマップに対してのディスカッション。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	就職活動にて活用する課題対策とは	リサーチの手法とトレンド分析の活用法		
2	トレンドキャッチキャッチと活用方法	シーズントrendを MAP にて制作し講評		
3	トレンドキャッチキャッチと活用方法	マップを使用したスタイル画の早書き練習		
4	テイスト別 ジャンル設定とトレンド活用	ガールズ系ブランドにトレンドを組み合わせた表現		
5	テイスト別 ジャンル設定とトレンド活用	ナチュラル系ブランドにトレンドを組み合わせた表現		
6	テイスト別 ジャンル設定とトレンド活用	キャリア向けブランドにトレンドを組み合わせた表現		
7	書類選考 課題フォーマット	提出課題に使用するデザインがフォーマット説明		
8	就活用ポートフォリオ	就職用ポートフォリオ 内容確認		
9	テイスト別 早書き特訓	ガールズ系ブランド		
10	テイスト別 早書き特訓	ナチュラル系ブランド		
11	テイスト別 早書き特訓	キャリア向けブランド		
12	卒業制作 ブランド立案	ブランドディスカッション		
13	卒業制作 ブランド立案	ブランドディスカッション		
14	卒業制作 ブランド立案	ブランドディスカッション		
15	卒業制作 ブランド立案	ブランドディスカッション		
留意事項（履修条件他）				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
就職活動での就職先課題作成の攻略と実技試験にて実践する。		事前に様々なリサーチを行いマップなどの制作物を作成。課題を使用しグループディスカッションをする。	授業課題で総合的に評価する 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C307	CAD II	3年/前期	2	選択
担当教員		科目区分		
岸 結美		演習		
講義目的				
<p>パタンナーとして、企業でのアパレルCADの現状を認識させ、CADの操作・機能を理解させる。 基本アイテムのパターンメイキングを中心に、パターン入力からパターン展開、マーキングまでの基本的な操作を学ぶ。</p>				
授業内容				
<p>手引きパターンのデータ化。CADで、ブラウス、ジャケットのパターンの制作の実践 グレーディング、マーキングの基本操作の習得。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	2年生修了作品のJK	スキャン&トレース		
2	2年生修了作品のJK	スキャン&トレース		
3	2年生修了作品のJK	部分取り出し、コメント、縫い代		
4	2年生修了作品のJK	部分取り出し、コメント、縫い代		
5	グレーディング(スカート/パンツ)	Grading Magicの操作		
6	グレーディング(スカート/パンツ)	Grading Magicの操作		
7	グレーディング(ブラウス/ジャケット)	Grading Magicの操作		
8	グレーディング(ブラウス/ジャケット)	Grading Magicの操作		
9	マーキング	Marker Magicの操作		
10	マーキング	Marker Magicの操作		
11	デザインスカート	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
12	デザインスカート	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
13	シャツカラーのブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
14	シャツカラーのブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
15	パフスリーブのブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
16	パフスリーブのブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、グレーディング、マーキング		
17	デザインブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、A4サイズに書き出し提出		
18	デザインブラウス	パターン展開、工業用パターン完成、A4サイズに書き出し提出		
19	前期テスト	ブラウス工業用パターン制作		
20	前期テスト	ブラウス工業用パターン制作		
21	テストの解説。ジャケットのパターン作成	パターンの展開		
22	テストの解説。ジャケットのパターン作成	パターンの展開		
23	ジャケットのパターン作成/裏地の展開	裏地の展開		

24	ジャケットのパターン作成/裏地の展開	裏地の展開
25	ジャケットのパターン作成	工業用パターンの完成
26	ジャケットのパターン作成	工業用パターンの完成
27	縫製仕様書通りのパターン作成	パターン作成
28	縫製仕様書通りのパターン作成	パターン作成
29	縫製仕様書通りのパターン作成	パターン作成
30	縫製仕様書通りのパターン作成	パターン作成
留意事項（履修条件他）		
繰り返し CAD を操作することが習得の条件である。		
教材		
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」（大阪文化服装学院） 2年の修了作品のパターン		
最終到達目標	学習法	評価方法
デザイン画/指示書通りのパターンが作成出来るようになること。データの書き出し、グレーディング、マーキングが出来るようになる事。	PatternMagic/GradingMagic MarkerMagic のソフトの操作	修了作品ジャケット デザインブラウス課題 テスト これらを総合的に評価する 出席重視

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C307	CAD II	3年/後期	2	選択
担当教員		科目区分		
岸 結美		演習		
講義目的				
パタンナーとして、企業でのアパレル CAD の現状を認識させ、CAD の操作・機能を理解させる。基本アイテムのパターンメイキングを中心に、パターン入力からパターン展開、マーキングまでの基本的な操作を学ぶ。				
授業内容				
手引きパターンのデータ化。CAD で、ブラウス、ジャケットのパターンの制作の実践 グレーディング、マーキングの基本操作の習得。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	JK の課題	ジャケットのパターン展開		
2	JK の課題	ジャケットのパターン展開		
3	JK の課題	ジャケットのパターン展開		
4	JK の課題	ジャケットのパターン展開		
5	JK の課題	ジャケットのパターン工業用展開		
6	JK の課題	ジャケットのパターン工業用展開		
7	JK の課題	ジャケットのパターン工業用展開		

8	JK の課題	ジャケットのパターン工業用展開
9	JK の課題	ジャケットのパターン工業用展開
10	卒業作品	ブランドグループに分かれ手書きしたパターンを 随時 CAD に入力し、パターンのライン修正及び工業 用パターン展開を行い順番に出力する作業
11	卒業作品	
12	卒業作品	
13	卒業作品	
14	卒業作品	
15	卒業作品	
16	卒業作品	
17	卒業作品	
18	卒業作品	
19	卒業作品	
20	卒業作品	
21	卒業作品	
22	卒業作品	
23	卒業作品	
24	卒業作品	
25	卒業作品	
26	卒業作品	
27	卒業作品	
28	卒業作品	
29	卒業作品	
30	卒業作品	
留意事項（履修条件他）		
繰り返し CAD を操作することが習得の条件である。		
教材		
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」（大阪文化服装学院） 2年の修了作品のパターン		
最終到達目標		学習法
デザイン画/指示書通りのパターンが作成出来るようになること。 データの書き出し、グレーディング、マーキングが出来るようになる事。		PatternMagic・GradingMagic MarkerMagic のソフトの操作
		評価方法
		修了作品ジャケット デザインブラウス課題 テスト これらを総合的に評価する 出席重視

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C314	オートクチュールⅡ	3年/前期	4	選択
担当教員		科目区分		
西田 千恵子		演習		
講義目的				
オートクチュールのテクニックとフォーマルウェアに関する専門知識を習得し、作品制作を通して自らの世界観を表現する。				
授業内容				
デザイン、パターンメイキング、縫製に至るまでの一連の工程を理解し、オートクチュールのテクニックを活かしたウエディングドレス、又はイブニングドレスを制作する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	ドレス制作 (ウエディング or イブニング)	4	デザイン、素材、テクニック決定	
2	ドレス制作	4	ファーストパターン作成	
3	ドレス制作	4	ファーストパターン作成	
4	ドレス制作	4	トワール組み	
5	ドレス制作	4	トワール組み	
6	ドレス制作	4	完成パターン作成	
7	ドレス制作	4	工業用パターン作成	
8	ドレス制作	4	工業用パターン作成	
9	ドレス制作	4	個人別縫製	
10	ドレス制作	4	個人別縫製	
11	ドレス制作	4	個人別縫製	
12	ドレス制作	4	個人別縫製	
13	ドレス制作	4	個人別縫製	
14	ドレス制作	4	個人別縫製	
15	ドレス制作	4	個人別縫製	
留意事項 (履修条件他)				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 8 手芸」(文化出版局)				
最終到達目標		学習法	評価方法	
オートクチュールのテクニックを活かし、フォーマルウェアを制作する。		講義 課題作成	提出された作品を総合的に評価する 出席重視	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C315	ビジネスコミュニケーションⅡ	3年/前期	1	必修
担当教員 齊藤 佳孝		科目区分 講義		
講義目的				
就職活動で行われる実技試験や面接に対応できる力を養う				
授業内容				
まず初めにアパレル技術職の就職活動におけるスケジュールと提出書類について理解する。その上で、過去に実際の企業で行われた実技試験を模擬的にを行い技術力を養う。後半は、面接対策として実際の面接を想定した模擬面接を繰り返しコミュニケーション能力を醸成し、面接試験を突破できる能力を育成する。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	オリエンテーション	就職活動のスケジュールや採用で重視されるポイント		
2	グループディスカッション	それぞれのアピールポイントについて		
3	グループディスカッション	面接における第一印象について		
4	模擬試験	アパレル企業の実技模擬試験(デザイン)		
5	プレゼンテーション	企業を想定した企画案のプレゼンテーション		
6	プレゼンテーション	企業を想定した企画案のプレゼンテーション		
7	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
8	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
9	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
10	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
11	ディスカッション	現在までの就職活動を振り返って		
12	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
13	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
14	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
15	模擬面接	就職活動における面接を意識した模擬面接		
留意事項(履修条件他)				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
就職活動で行われる実技試験を効率的にこなす事ができる。 模擬面接を通して、自分の考えやアピールポイント、作品について伝えることができるようになる。		講義・グループワーク・実習	定期課題(100点)	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C316	卒業制作	3年/後期	4	必修
担当教員		科目区分		
下岸 貴美子		演習		
講義目的				
3年間の集大成として各コースで学んだ知識や技術を活かし、グループでブランドを立ち上げショー形式で発表する。グループで話し合い、トレンドや社会情勢を分析し、デザインを発想し作成。コーディネート力や見せ方、演出の仕方を考え表現力を身につけると共に各自の責任感やコミュニケーション力を身につける				
授業内容				
今求められる新しさのあるデザインを発想、表現。チームワークを学ぶ。 デジタルツールを使用し、ホームページやブランドブックを作成することにより視覚的演出力を習得させる。 コーディネートや見せ方、演出などの表現力を身につける。 各自のコースで作業内容を分担し8スタイリングを制作する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	卒業制作（企画・デザイン）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン出し</li> <li>・デザイン修正</li> <li>・テクニック作成</li> </ul>	
2	卒業制作（製図）	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パターン作成・トワール組み立て</li> <li>・トワールチェック</li> </ul>	
3	卒業制作（縫製）	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縫製始末ファイル作成</li> <li>・スタイリング縫製</li> </ul>	
4	卒業制作（撮影・映像）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランドブックラフ画作成</li> <li>・撮影打ち合わせ</li> <li>・ブランドブック作成</li> <li>・ポスター作製</li> <li>・ルックブック撮影</li> <li>・審査会写真撮影</li> <li>・ヘアメイク打ち合わせ</li> </ul>	
5	卒業制作（コーディネート）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセサリー、小物確認</li> <li>・コーディネートチェック</li> </ul>	
6	卒業制作（練習）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着せ付け練習</li> </ul>	
留意事項（履修条件他）				
グループ内での意思疎通を図りスケジュール管理しながら作業を行う				
教材				
各教科授業での配布資料及びテキスト				
最終到達目標	学習法		評価方法	
卒業制作に向け、トレンドや社会情勢を意識したグループブランドを立ち上げ発表する	演習 口頭発表		グループワークによって作られた完成作品について総合的に評価する 進捗状況も随時確認 出席重視	